

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「日本株式アクティブオープン」は、このたび、  
第18期の決算を行いました。

当ファンドは、わが国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第18期末(2016年11月28日)

|            |        |
|------------|--------|
| 基準価額       | 8,466円 |
| 純資産総額      | 833百万円 |
| 第18期       |        |
| 騰落率        | △ 3.8% |
| 分配金(税引前)合計 | 0円     |

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# 日本株式アクティブオープン

追加型投信/国内/株式

作成対象期間：2015年12月1日～2016年11月28日

## 交付運用報告書

第18期(決算日2016年11月28日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

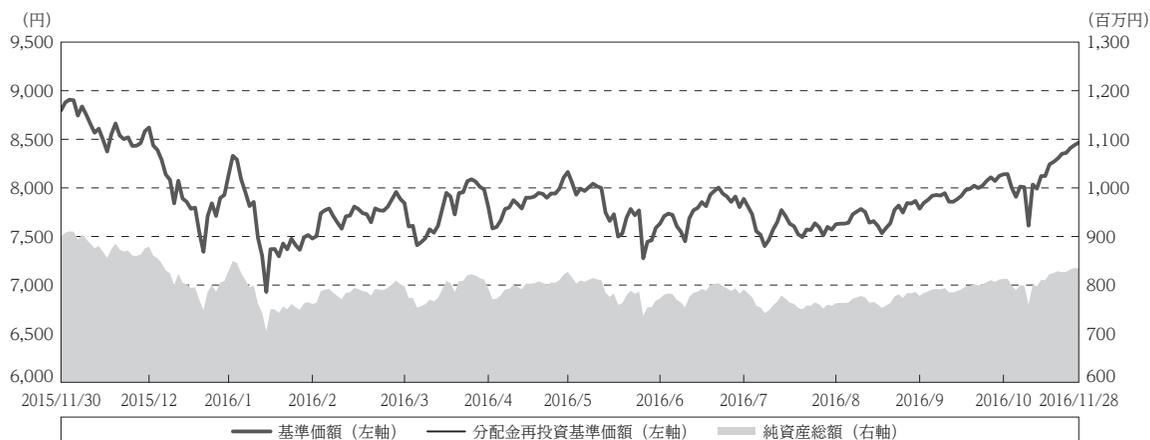
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2015年12月1日～2016年11月28日)



期 首：8,798円

期 末：8,466円 (既払分配金(税引前):0円)

騰落率：△ 3.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年11月30日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・業種配分では、機械、医薬品、卸売業などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、ディー・エヌ・エー、ダイキン工業、ペプチドリームなどが基準価額にプラスに寄与しました。

## (主なマイナス要因)

- ・業種配分では、輸送用機器、銀行業、小売業などが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、三菱UFJフィナンシャル・グループ、トヨタ自動車、村田製作所などが基準価額にマイナスに寄与しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2015年12月1日～2016年11月28日)

| 項 目                  | 当 期   |         | 項 目 の 概 要                                 |
|----------------------|-------|---------|---|
|                      | 金 額   | 比 率     |   |
| (a) 信 託 報 酬          | 107   | 1.343   | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率                  |
| ( 投 信 会 社 )          | ( 52) | (0.644) | 委託した資金の運用の対価                              |
| ( 販 売 会 社 )          | ( 47) | (0.591) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| ( 受 託 会 社 )          | ( 9)  | (0.107) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                   |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料    | 49    | 0.617   | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数         |
| ( 株 式 )              | ( 49) | (0.617) | 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料          |
| (c) そ の 他 費 用        | 0     | 0.006   | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数             |
| ( 監 査 費 用 )          | ( 0)  | (0.005) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用               |
| ( そ の 他 )            | ( 0)  | (0.000) | その他は、金銭信託支払手数料                            |
| 合 計                  | 156   | 1.966   |   |
| 期中の平均基準価額は、7,993円です。 |       |         |   |

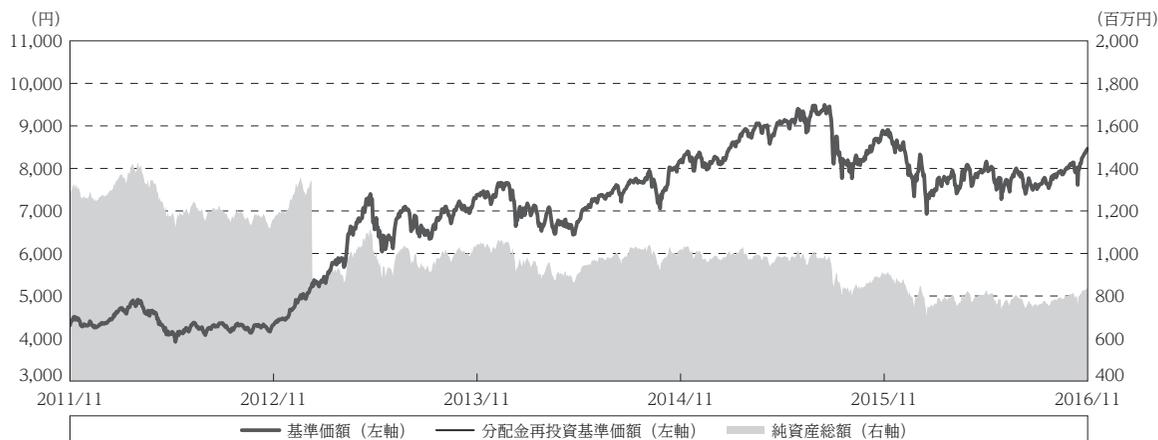
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2011年11月28日～2016年11月28日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2011年11月28日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

|                      | 2011年11月28日<br>期初 | 2012年11月28日<br>決算日 | 2013年11月28日<br>決算日 | 2014年11月28日<br>決算日 | 2015年11月30日<br>決算日 | 2016年11月28日<br>決算日 |
|----------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円)             | 4,311             | 4,391              | 7,431              | 8,235              | 8,798              | 8,466              |
| 期間分配金合計(税引前) (円)     | —                 | 0                  | 0                  | 0                  | 0                  | 0                  |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%)    | —                 | 1.9                | 69.2               | 10.8               | 6.8                | △ 3.8              |
| 東証株価指数(TOPIX)騰落率 (%) | —                 | 7.8                | 63.5               | 11.8               | 12.0               | △ 7.0              |
| 日経平均株価(225種)騰落率 (%)  | —                 | 12.3               | 69.0               | 11.0               | 13.1               | △ 7.0              |
| 純資産総額 (百万円)          | 1,270             | 1,178              | 1,054              | 1,025              | 899                | 833                |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 東証株価指数(TOPIX)、日経平均株価(225種)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

## 投資環境

(2015年12月1日～2016年11月28日)

国内株式市場は、世界経済の先行きが懸念される中で米国が利上げを実施したことなどから、投資家のリスク回避の姿勢が強まり、2016年2月中旬にかけて下落しました。8月上旬にかけては、米国株式市場の上昇などが株価を押し上げる要因となった一方、円高ドル安の進行などが株価の下落要因となり、一進一退の展開となりました。その後は、円高ドル安の動きに歯止めがかかったことから、株式市場も徐々に下値を切り上げる動きとなり、期末にかけては、米大統領選挙でトランプ氏が勝利し、米国の経済成長への期待が高まり円安ドル高が進行したことなどから、上値を試す展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2015年12月1日～2016年11月28日)

当ファンドの運用につきましては、株価の割安面（バリュエ）と企業の成長性（グロース）から株式を捉え、株式組入比率のうち、それぞれ50%程度ずつ投資しました。

バリュエ銘柄では、海外事業の強化などにより収益改善が期待でき株価の割安感が強いと判断した三菱電機などを新規に組み入れた一方、円高ドル安や販売台数の減少などから業績悪化が懸念されたトヨタ自動車の売却などを行いました。

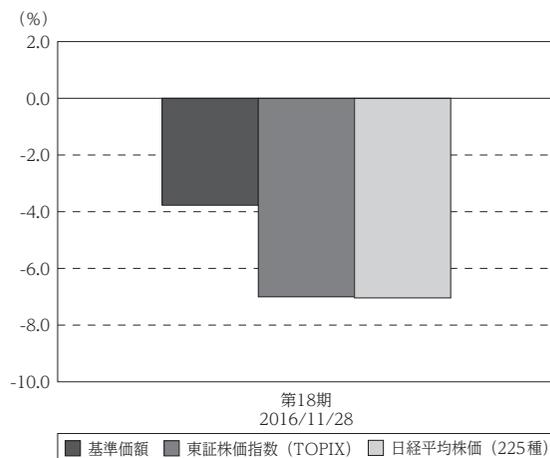
グロース銘柄では、アジアを中心に空調機の拡販による利益成長が期待できるダイキン工業などを新規に組み入れた一方、スマートフォン用電子部品の販売減少による業績悪化が懸念された村田製作所の売却などを行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年12月1日～2016年11月28日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、東証株価指数（TOPIX）、日経平均株価（225種）です。

## 分配金

(2015年12月1日～2016年11月28日)

毎年11月28日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益としております。

当期の分配につきましては、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万円当たり・税引前)

| 項 目       | 第18期                       |
|-----------|----------------------------|
|           | 2015年12月1日～<br>2016年11月28日 |
| 当期分配金     | —                          |
| (対基準価額比率) | —%                         |
| 当期の収益     | —                          |
| 当期の収益以外   | —                          |
| 翌期繰越分配対象額 | 652                        |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

国内株式市場は、上昇基調で推移すると考えます。米国の新政権による大規模な減税やインフラ投資拡大などによる米国の経済成長への期待や、円安ドル高の進行による日本企業の収益改善への期待などが、株価を押し上げる材料になると考えます。ただ、米国のインフレ圧力の増大や、米国長期金利の上昇に伴う新興国からの資金流出への懸念などが株価の上値を抑える要因になると思われれます。

当ファンドの運用につきましては、株価の割安面（バリュエーション）と企業の成長性（グロース）から株式を捉え、株式組入比率のうち、それぞれ50%程度ずつ投資します。

バリュエーション銘柄の選定では、PBR（株価純資産倍率）、PCFR（株価キャッシュフロー倍率）、配当利回りなどの投資尺度を活用し、グロース銘柄の選定では、PER（株価収益率）、ROE（株主資本利益率）等の投資尺度や成長性に着目して運用を行ってまいります。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

## お知らせ

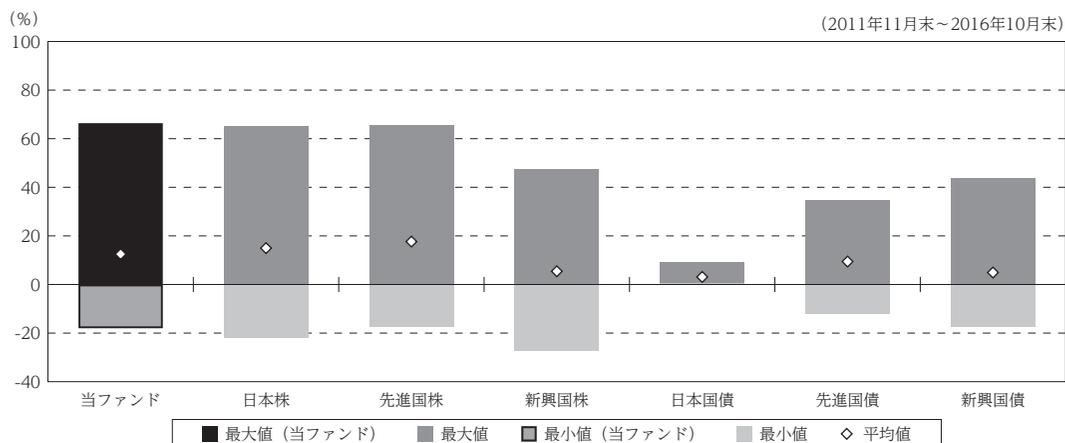
金融商品取引業等に関する内閣府令等の改正に伴い信用リスクを適正に管理するために、投資信託約款に所要の整備を行うべく、約款の変更を行いました。(実施日：2016年2月27日)

## 当ファンドの概要

|        |  |
|--------|--|
| 商品分類   | 追加型投信／国内／株式  |
| 信託期間   | 1998年12月1日から2018年11月28日までです。   |
| 運用方針   | わが国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。   |
| 主要投資対象 | わが国の株式を主要投資対象とします。   |
| 運用方法   | 株式への投資にあたっては、株価の割安面（バリュウ）と企業の成長性（グロース）から株式を捉え、株式組入比率のうち、それぞれ50%程度ずつ投資します。<br>バリュウ銘柄の選定は、PBR（株価純資産倍率）、PCFR（株価キャッシュフロー倍率）、配当利回り等の投資尺度を活用し、グロース銘柄の選定は、PER（株価収益率）、ROE（株主資本利益率）等の投資尺度や成長性に着目します。この際、それぞれ株価水準、流動性、業績動向等を勘案して選定します。 |
| 分配方針   | 毎年11月28日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。   |

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

|     | 当ファンド  | 日本株    | 先進国株   | 新興国株   | 日本国債 | 先進国債   | 新興国債   |
|-----|--------|--------|--------|--------|------|--------|--------|
| 最大値 | 66.4   | 65.0   | 65.7   | 47.4   | 9.3  | 34.9   | 43.7   |
| 最小値 | △ 18.0 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 27.4 | 0.5  | △ 12.3 | △ 17.4 |
| 平均値 | 12.5   | 15.0   | 17.7   | 5.4    | 3.1  | 9.4    | 4.9    |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年11月から2016年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼィング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2016年11月28日現在)

## ○組入上位10銘柄

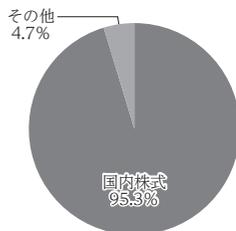
|    | 銘柄名     | 業種/種別等   | 通貨   | 国(地域) | 比率  |
|----|---------|----------|------|-------|-----|
|    |         |          |      |       | %   |
| 1  | 三菱電機    | 電気機器     | 円    | 日本    | 3.7 |
| 2  | デンソー    | 輸送用機器    | 円    | 日本    | 3.5 |
| 3  | ダイキン工業  | 機械       | 円    | 日本    | 3.3 |
| 4  | TOTO    | ガラス・土石製品 | 円    | 日本    | 3.3 |
| 5  | 日産自動車   | 輸送用機器    | 円    | 日本    | 3.2 |
| 6  | 安川電機    | 電気機器     | 円    | 日本    | 3.2 |
| 7  | 明電舎     | 電気機器     | 円    | 日本    | 3.2 |
| 8  | SMC     | 機械       | 円    | 日本    | 3.1 |
| 9  | SUMCO   | 金属製品     | 円    | 日本    | 3.0 |
| 10 | ペプチドリーム | 医薬品      | 円    | 日本    | 2.9 |
|    | 組入銘柄数   |          | 75銘柄 |       |     |

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

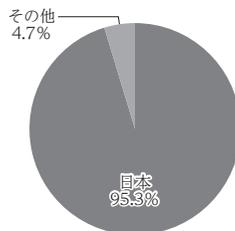
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

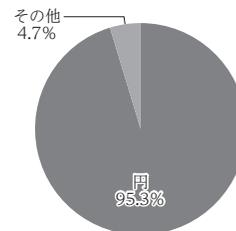
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

## 純資産等

| 項目         | 第18期末        |
|------------|--------------|
|            | 2016年11月28日  |
| 純資産総額      | 833,786,833円 |
| 受益権総口数     | 984,901,300口 |
| 1万口当たり基準価額 | 8,466円       |

(注) 期中における追加設定元本額は3,332,604円、同解約元本額は41,178,161円です。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。